

三重中京大学

地域社会研究所要覧



2007年5月

あいさつ

～地域に学び、地域と共創する～

地域社会研究所は、1987年に設立され、今年で20年を迎えました。この間、地域社会の抱える諸問題を自主的に研究するとともに、地域から受託したさまざまな問題に対して、集積する高度専門的知見を以って、実効性のある成果を生み出すことにより、地域社会に貢献してまいりました。

いま、地域社会は、自治、環境、福祉、医療、交通、教育、産業、文化など、あらゆる面で未だかつて経験したことのない変革と変貌を迫られています。その一方で、地域が有する自然、歴史、伝統、文化、生活、社会など、様々な資産の保存を再評価しつつ、再編成により、新たな価値創造を行い、持続可能な社会の実現という実に困難な課題に直面しています。

私たち地域社会研究所は、これからも地域社会を構成する一員として、問題を地域から学び、地域の人たちと協働して解決点を見出し、知の汗するところにより、地域社会の発展に寄与していきたいと考えています。

このような役割を果たすために、私は、所長として次のことを実現してまいります。

- 1 研究能力の向上
- 2 外部専門家との連携強化
- 3 受託プロジェクトの増加
- 4 社会的効果をもたらす成果を生み出す

関係各位には、ご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2007年5月

三重中京大学地域社会研究所

所長 伊藤力行

研究成果の発表

所員及び研究員が、研究所の自主研究や独自の個人研究によって行った地域に係る諸問題や各種の研究成果を、毎年発行する「研究所報」や「叢書」に発表し、広く各方面の方々に利用されて、地域の諸問題等に対する理解を一層深めることに役だたせていただいている。

所 報

叢 書

●創刊号（1989年3月）

創刊に寄せて …………… 学長 島 崎 隆 夫

発刊にあたって …………… 所長 倉 田 貞

論 説

松阪圏域の経済構造 …………… 倉 田 貞

サンベルト・ゾーン構想における

交通計画をめぐって …………… 増 井 健 一

研究ノート

明治末の神社合祀について（三重県の場合を中心に） 松 島 博

多極分散型国土への道 …………… 加 藤 富 子

講 演

松阪商人・その栄光への道 …………… 島 崎 隆 夫

●第2号（1990年3月）

論 説

三重県と職業 …………… 保 谷 六 郎

松阪木綿 ―法田染について― …………… 上 野 利 三

上 阪 千 保

松阪市における公民館活動

―地域社会を支えるもの(1)― …………… 寺 口 瑞 生

研究ノート

市町村総合計画の基本構想について …………… 倉 田 貞

三重県下の縄文時代の交易圏に関する一考察

―研究ノート1― …………… 江 坂 輝 彌

資料

文化八年二月・庄屋役用御印物諸帳面請取帳	上野利三
―旧飯野郡中万村中井家所蔵文書の解説―	三ツ村健吉
	辻義夫
	中井良宏

●別冊1号 (1991年1月)

資料

竹斎日記 稿I	浅井壽三
	上野利三

●第3号 (1991年3月)

論説

美し国伊勢	
―三重県における食文化史の一研究―	上野利三
	加藤幾子
松坂木綿	
―法田染・染型紙の文様別分類について―	上野利三
	上阪千保
三重県における社会福祉協議会の現状	寺口瑞生

研究ノート

松坂大学公開講座「硬式テニス」の現状と課題	
―平成2年度公開講座受講者アンケート調査結果から―	
	宗方保

資料

竹口喜左衛門信義日記 稿I	上野利三
	三ツ村健吉

●別冊2号 (1992年3月)

資料

竹斎日記 稿II	浅井壽三
	上野利三

●第4号 (1992年3月) 倉田貞教授退職記念号

倉田貞教授退職記念号に寄せて	学長 梅村光弘
倉田貞教授略歴および著作目録	

論説

松坂商人「竹口家」の経営戦略	倉田貞
開物瑣言	藤井定義
国際空港建設の市場経済的諸条件	増井健一

三重県産清酒の現状と展望	吉田弘一
博覧会と地域振興	
—世界祝祭博開催をひかえて—	細野義晴
縞帳の研究	
—松阪市中万町竹口家所蔵の縞手本について—	上野利三 上阪千保
ヒストリー商業タウン松阪	
—生活者視点の都市デザイン—	上野利三 谷清司

研究ノート

ベトナム古代文化の地域性	江坂輝彌
--------------	------

資料

竹口喜左衛門信義日記 稿Ⅱ	上野利三 三ツ村健吉
---------------	---------------

●別冊3号 (1993年3月)

資料

竹斎日記 稿Ⅲ	浅井壽 上野利三
---------	-------------

●第5号 (1993年2月)

論説

伊勢国飯野郡中万村の太閤検地	藤井定義
中南勢地域における地域経済の変貌と	
広域合併農協による地域活性化への対応	細野義晴
農村活性化事業の事例的研究	
—三重県多気町五桂池ふるさと村—	倉田貞昇 山中

縞帳の研究Ⅱ

—松阪市立歴史民俗資料館所蔵の「御鳴本帳」について—	上野利三 上阪千保
----------------------------	--------------

伊勢商人 中万竹口家の教養と国学	高倉一紀
------------------	------

資料

竹口喜左衛門信義日記 稿Ⅲ	上野利三 三ツ村健吉
---------------	---------------

●別冊4号 (1993年12月)

資 料

竹斎日記 稿IV	浅井 壽 上野 利三
----------------	---------------

●第6号 (1994年2月)

論 説

伊勢国飯野郡中万村の名寄帳 一延宝五年巳正月一	藤井 定 義
竹口家の家訓と江戸店の経営	倉田 貞 宏 中井 良 宏
「新たな過疎問題」の展開と地域社会の対応 一三重県飯高町を事例に一	寺口 瑞 生
パソコン通信の公共の利用 一地方自治体のケースを中心として一	勝木 太 一 岡田 章 彦

研究ノート

松阪大学公開講座「軟式テニス」の現状と課題 一平成3～5年度同講座アンケート調査から一	宗方 保
--	------

資 料

竹口喜左衛門信義日記 稿IV	上野 利三 三ツ村 健吉
----------------------	-----------------

●第7号 (1995年2月)

論 説

松阪市中心商店街商店経営者の 経営者意識に関する若干の考察	伊藤 力 行
松阪市沿岸部漁業の現状と問題点	倉田 貞 宏 山中 昇
教主山来迎寺鐘楼門の成立 一三井家の財政支援に係る建築物の一研究一	上野 利三

資 料

三重県東紀州地域の現状	寺口 瑞 生
竹口喜左衛門信義日記 稿V	上野 利三 三ツ村 健吉
来迎寺楼門の図面	中西 昌 二

●別冊5号 (1995年2月)

資料

竹斎日記 稿V 浅井 政 弘
上野 利 三

●別冊6号 (1995年11月)

資料

竹斎日記 稿VI 浅井 政 弘
上野 利 三

●別冊7号 (1996年2月)

資料

竹斎日記 稿VII 浅井 政 弘
上野 利 三

●第8号 (1996年2月)

論説

中山間地域における地域社会の研究

—三重県飯高町について— 倉田 貞
西村 高雄

三重県の都市型CATV(1) 伊藤 力行

三重県における地域保健医療をめぐる諸問題

—「三重県保健医療計画」を中心に— 筒井 琢 磨
寺口 瑞 生

パネルデータによる日本の産業

特化・集積化現象の実証分析 中村 亨

文献史学から見た邪馬台国所在地論

—本居宣長説を起点に大和説不成立論に及ぶ— 上野 利 三

研究ノート

射和文庫所蔵の考古資料

—特に下射和池発見の縄文時代石器について— 江坂 輝 彌

天保三年射和延命寺物産会と竹川竹斎 上野 利 三

資料

竹口喜左衛門信義日記 稿VI 上野 利 三
三ツ村 健 吉

●別冊8号 (1996年3月)

資料

竹斎日記 稿VIII 浅井 政 弘
上野 利 三

●別冊9号 (1996年12月)

資料

竹斎日記 稿Ⅹ …………… 浅井 政 弘
上野 利 三

●別冊10号 (1997年3月)

資料

竹斎日記 稿Ⅹ …………… 浅井 政 弘
上野 利 三

●第9号 (1997年3月)

論説

三重県の都市型CATV(2) …………… 伊藤 力 行
射和地区商家文書と幕末・維新史の研究をめぐって … 上野 利 三
「三重県民の選挙及び政治意識に関するパネル調査」結果報告①
—概論— …………… 荒木 義 修
「三重県民の選挙及び政治意識に関するパネル調査」結果報告②
—投票行動分析へのAHPの応用— …………… 佐藤 祐 司

研究ノート

新出の竹口喜左衛門信義日記について
—勝海舟の名が登場する初期の記録— …………… 上野 利 三
尾崎行雄と三重県(民)
—尾崎行雄の選挙の足跡を中心に— …………… 阪上 順 夫

資料

竹口喜左衛門信義日記 稿Ⅶ …………… 上野 利 三
三ツ村 健 吉

●第10号 [開設10周年記念特集号] (1998年3月)

地域社会研究所10周年記念号の刊行にあたって …………… 梅村 光 弘
10周年記念の所報発行にあたって …………… 細野 義 晴

論説

松阪市の小売業 …………… 伊藤 力 行
～問題の本質・分析・発展への手がかりのために～
流域社会論へ向けて —シンボルとしての川の記憶— … 筒井 琢 磨
中国産業の発展状況と環境問題 …………… 野上 健 治
幕末・維新时期亀山藩黒田孝富小伝—その出自を中心に— 上野 利 三

研究ノート

尾崎行雄の選挙実態調査報告(1) …………… 阪上 順 夫
上野 利 三

イングランド近現代に見る 「公証人 (notary public)」 ……………	高橋裕一
—ブルックス、ヘルムホウルツ、スタインの共同研究から—	
南北戦争以前の南部製造業と農産物特化 ……………	近江健吉

資料

竹口喜左衛門信義日記 稿Ⅷ ……………	上野利三 三ツ村健吉
新発見の竹川竹斎著「羈呻居柄」(慶応二年竹川家所蔵) ……	上野利三
—横浜におけるパークス会見記— ……………	浅井政弘

●別冊11号 (1998年3月)

資料

竹斎日記 稿Ⅺ ……………	浅井政弘 上野利三
---------------	--------------

●別冊12号 (1998年3月)

伊勢国飯野郡中万村中井家資料目録 ……………	上野利三 高倉一紀 松本吉弘
------------------------	----------------------

●第11号 (1999年3月)

論説

橿田川の記憶 —上流からの発信— ……………	筒井琢磨
文化行政と三重県文化の活性化 ……………	菊池理夫
製品としての「地域」の戦略的マーケティング ……………	伊藤力行
明治期の伊賀地方における衆議院議員選挙 ……………	上野利三
第1回総選挙とその前後期を中心に—	

研究ノート

尾崎行雄の選挙実態調査報告(2) ……………	阪上順夫 上野利三
ニューヨークにおけるタンパイク道路と プランク道路, 1797—1860 ……………	近江健吉
松阪に残る戦国城下町形成期の軍事的遺構について(1) ……	上野利三

資料

竹口喜左衛門信義日記 稿Ⅸ ……………	上野利三 三ツ村健吉
---------------------	---------------

●叢書第1号 (1999年3月)

伊勢商人 竹口家の研究 ……………	上野利三 高倉一紀
-------------------	--------------

●第12号 (2000年3月)

論 説

都市の成長に関する実証分析 ……………	中 村 亨
—三重県下都市の集積化現象と内生的成長—	近 江 健 吉
地方政府と文化政策 ……………	二 神 律 子
—三重県の公共ホール調査—	戸 島 美喜夫
松阪市のごみ問題についての考察 ……………	塩 田 尚 樹
明治期の星合港(旧三雲村内)について ……………	上 野 利 三
—近代伊勢湾海運史研究の一齣—	
中国主要都市における都市化の進展とエネルギー消費に関する分析……………	野 上 健 治

研究ノート

地方都市活性化への政策研究 ……………	阪 上 順 夫
—松阪市と小田原市の比較研究—	
麻生浦と和歌 ……………	中 川 淸 梵
南北戦争前のペンシルバニアとバージニアにおける交通改善 ……	近 江 健 吉

資 料

明治初年(廃藩置県時)の藩主引留め騒動に関する裁判史料 ……	上 野 利 三
竹口喜左衛門信義日記 稿X ……………	上 野 利 三 三ツ村 健 吉

●叢書第2号 (2000年3月)

尾崎行雄の選挙 ……………	阪 上 順 夫
---------------	---------

●第13号 (2001年3月)

論 説

On the ‘Regressiveness’ Of Locally Undepletable Environmental Pollution ……………	塩 田 尚 樹
英米のコミュニタリアニズムと地域政策 ……………	菊 池 理 夫
高校と大学の連携に関わる一考察 ……………	中 井 良 宏 高 松 真 親
天保三年八月射和延命寺における読書室物産会と竹川竹斎 ……………	上 野 利 三
【自主研究】 中山間地域における世代間関係に関する社会経済学的分析 (平成11年度～12年度)	
中山間地域における高齢者の家族・近隣ネットワークと介護期待 —三重県大宮町の事例から— ……………	中 里 英 樹
公的育児、税、および、経済成長 ……………	大 森 達 也

研究ノート

松阪市の環境について	吉田弘一 塩田尚樹
地方分権時代のNPOの意義とその実践	阪上順夫
日本における年金改革に関する考察	村田美希
オーストラリアの政党制と選挙制度について	梅村光久
地方公共財の最適供給 —ティボー・モデルによるマネジメント—	鈴木章文
特例市制度に関する一研究	石田修二
松阪に残る戦国城下町形成期の軍事的遺構について(2)	上野利三

資料

三重県の公共ホール調査	戸島美喜夫 二神律子
竹口喜左衛門信義日記 稿XI	上野利三 三ツ村健吉

●叢書第3号 (2001年3月)

地域に生きる大学	中井良宏 宇田光文 片山尊文 山元有一
----------	------------------------------

●第14号 (2002年3月)

論説

観光振興と地域活性化の経済分析 —三重県の事例と課題—	角本伸晃
成長経済における公的育児政策の社会的厚生への効果	大森達也
文学作品に見るイングランドの「執事」たち —歴史学的考察—	高橋裕一

【自主研究】 明治前期三重県における政治活動と教育思潮及び近代学校の成立・展開に関する研究 (平成12年度～13年度)

明治二十三年第一回衆議院議員選挙における

三重県第二区当選者伊東祐賢	上野利三
---------------	------

前近代日本の法政資料について	上野利三
----------------	------

—明治政府の律逸文採集事業の後をおって—

地域の活性化における行政と市民の係わりについて
(平成12年度～13年度)

住民投票条例の制定と今後の課題・展望	皆川治廣
三重県内の諸地域の経済的発展と環境制約に関する学際的研究 (平成12年度～13年度)	
環境税の経済学的基礎	塩田尚樹

研究ノート

地域の活性化と連携 —「まちの駅」を中心に—	阪上順夫
三重県に残る戦国期城館について (一) —南伊勢及び伊賀における調査—	上野利三
三重県製造業の構造分析	西孝
地方公務員制度改革とガバナンス概念	山本正憲
IT時代の自治体政策を考える	石田修二
過疎地域の守り方 —贈与と交換—	藤原秀雄
水行政に関する一考察	濱口高志
公共財の効率的供給 —NPMの理論と実践—	鈴木章文
The method of approach to Japanese markets from products of Myanmar	松本圭史

●叢書第4号 (2002年3月)

地域政治社会形成史の諸問題	上野利三
---------------	------

●第15号 (2003年3月)

論説

市町村合併の政策的課題 —松阪を中心に—	阪上順夫
「介護保険制度の再検討」	村田美希
三重デジタルコミュニティズ 研究ネットワークの構築	奥村晴彦・大西眞純 村澤忠司・門馬康之
高校生の学校適応に関する探索的研究 —学校生活領域に対する成功困難度の認知と学校ざらいとの関連—	中西良文
伊勢神宮大内人高山孝重製作の山田地図 (天保期) について	上野利三

研究ノート

明治期敷設申請の北勢鉄道 (現近鉄北勢線) の 存続と桑名市周辺の地域振興	上野利三
--	------

分権時代の政策選択	鈴木章文
地方公務員制度における厚生福利制度に関する一考察	山本正憲
自治体ホームページの現状と課題	石田修二

●叢書第5号 (2003年3月)

21世紀地方都市の活性化	阪上順夫
--------------	------

●第16号 (2004年3月)

論 説

雇用ポートフォリオ戦略

—非正規雇用者能力活用のためのあらたな戦略視点—	伊藤力行
--------------------------	------

財政政策、経済成長、および生産関数	大森達也
-------------------	------

現実場面における成功／失敗の原因帰属

—サッカーW杯における日本チームの成績について—	中西良文
--------------------------	------

少子・高齢化の進行と地方自治体	阪上順夫
-----------------	------

【自主研究】

政治参加と市民性・社会資本(1)

一人はなぜ投票所に出かけるのか— (平成14年度～15年度)	荒木義修
-----------------------------------	------

宝塚古墳をめぐる政策研究

(平成14年度～15年度)	二神律子 芹澤高斉 村田美鈴
---------------	----------------------

研究ノート

射和文庫所蔵の江戸時代科学技術史資料について	上野利三
------------------------	------

歴史的遺産を生かした伊勢志摩地域の振興案	上野利三
----------------------	------

環境情報開示による経済効果の検証	朴恩芝
------------------	-----

三重県における外国人労働者等の現状と今後の課題

—少子高齢化の進展と外国人労働者・研修生等—	松本圭史
------------------------	------

ガバナンス時代の自治体行政改革

—NPM改革から「公共」の再編成へ—	山本正憲
--------------------	------

社会資本整備投資の公平性と

衡平性に関する基礎的考察	大谷健太郎
--------------	-------

資 料

近世長崎科学技術史年表 稿I	上野利三
----------------	------

●叢書第6号 (2004年3月)

地域文化史の研究 …………… 上野利三

●第17号 (2005年3月)

論 説

医療研究開発への公共支出と社会保障が経済成長に及ぼす効果
…………… 大森達也

企業の社会的責任 (CSR) と社会的責任投資 (SRI) …… 朴恩芝

飛鳥石神遺跡出土・具注暦木簡について …………… 上野利三

17世紀チェサピークにおける奴隷の導入 …………… 近江健吉

研究ノート

循環型地域社会の政策デザイン …………… 寺本博美
—徳島県勝浦郡上勝町における
「ゼロ・ウェイスト」政策の展開— 若山幸則
鈴木章文
濱口高志
大谷健太郎

「バイオエネルギー村・ユーンデ」の出現過程 ……… 鈴木章文

地方自治体における人件費に関する一考察 …………… 山本正憲

政府部門におけるオープンソース導入の現状と課題 …… 石田修二

参加型意思決定プロセスと合意形成
—松阪市環境基準条例の制定事例を通して— ……… 若山幸則

公共政策と社会資本整備
—住民意向に基づいた政策の事前評価の必要性— …… 大谷健太郎

三重県紀和町における捕虜収容所の状況の聞き取り調査
…………… 榎居孝

資 料

近世長崎科学技術史年表 稿Ⅱ …………… 上野利三

日赤文書目録 I …………… 上野利三

—日本国内の第2次世界大戦中の
欧米人捕虜等関係資料の整理— 榎居孝
大川四郎
加藤順一
久保田浩二郎

●叢書第7号 (2006年2月)

三重県の行政システムはどう変化したか …………… 吉村裕之

●第18号 (2006年3月)

論 説

- 植民地時代におけるニューイングランド経済 …………… 近 江 健 吉
東海地域における政府系金融機関貸出と
民間金融機関貸出に関するシフト・シェア分析
…………… 西 孝
公共事業事前評価システムにおける価値基準とウェイトの導入
…………… 大 谷 健太郎
ゼロ・ウェイストとリサイクル社会経済システム …… 若 山 幸 則

【自主研究】

- 政治に対する信頼と政党支持
— 松阪市における政治意識調査より —
(平成16年度～17年度) …………… 梅 村 光 久
太平洋戦争中の三重県入鹿収容所 (前)
(平成16年度～17年度) …………… 上 野 利 三
大 川 四 郎
加 藤 順 一
榊 居 孝
循環型地域社会の形成と「ゼロ・ウェイスト」政策の展開
(平成16年度～17年度) …………… 寺 本 博 美
若 山 幸 則
鈴 木 章 文
濱 口 高 志
大 谷 健太郎
日本・韓国NGOの動向に関する研究
(平成16年度～17年度) …………… 辛 貞 和
朴 恩 芝

研究ノート

- 長崎市刊『出島図— その景観と変遷 —』に
掲載されなかった出島図とその風俗図 …………… 上 野 利 三
— 特に健康管理としてのスポーツ関連絵図について —
「離島」の振興と観光 …………… 堀 岡 治 男
指定管理者制度の課題と展望 …………… 松 本 圭 史
P F I と地域金融 …………… 川 村 敏 也

資 料

- 近世長崎科学技術史年表 稿Ⅲ …………… 上 野 利 三

●叢書第8号 (2007年2月)

循環型地域社会のデザインとゼロ・ウェイスト ……………	寺 本 博 美 若 山 幸 則 濱 口 高 志 大 谷 健太郎 鈴 木 章 文
-----------------------------	---

●第19号 (2007年3月)

論 説

小泉ポリティクスと政党支持 ……………	梅 村 光 久 — 2005年松阪市政治意識調査より —
中国都市部の地域政策に関する一考察 ……………	横 浜 勇 樹 — 北京市の「社区」活動の展開 —

【自主研究】

地方政府は地域の過疎・高齢化を止められるか ……………	大 森 達 也
ソーシャル・キャピタルとしての地域コミュニティ ……	菊 池 理 夫
三重県における漁業の動向と沿岸漁業管理 ……………	芹 澤 高 斉 高 橋 保 幸 川 村 敏 也
未成年後見監督の現状と問題点 ……………	村 田 裕

研究ノート

カルチュラル・ツーリズムの可能性と三重県における資源 ……………	西 孝 大 谷 健太郎 寺 本 博 美
わが国および三重県の労働所得格差 ……………	川 村 敏 也 — 非正規雇用者の増加が格差拡大の要因 — 伊 藤 力 行
住民基本台帳カードの現状と課題 ……………	石 田 修 二 — 改めて住基カードと住基ネットの原点に立ち返る —
廃棄物PFIと循環型社会 ……………	若 山 幸 則
わが国におけるメディア・リテラシーの向上と公教育の役割 ……………	花 豊 真希子

資 料

【判例紹介】産業廃棄物処理業許可差止請求事件 ……	恩 地 紀代子
島の地域課題への取り組みに関する調査 ……………	菊 池 理 夫

自主研究

当研究所の設置目的である「地域社会に関する諸問題を理論的ならびに実証的に研究し、もって地域の発展に寄与する」を实践するため、毎年2～4つの自主研究を所員が中心となり、研究所の事業として行っている。

1990年

竹川竹齋日記・竹口喜左衛門日記を通してみた地域社会の一研究
—江戸末期を中心に—

1991年

- (1) 同上 (継続)
- (2) 中南勢地域と、その中核都市としての松阪市のあり方に関する研究
(新規)

1992年

- (1) 同上 (継続)
- (2) 同上 (継続)

1993年

- (1) 同上 (継続)
- (2) 同上 (継続)

1994年

- (1) 同上 (継続)
- (2) 同上 (継続)

1995年

- (1) 同上 (継続)
- (2) 同上 (継続)

1996年

- (1) 同上 (継続)
- (2) 河川流域社会における環境保全に関する研究 (新規)
- (3) 三重県全域にわたる有権者の投票行動に関する調査・研究 (新規)

1997年

- (1) 同上 (継続)
- (2) 河川流域社会における環境保全に関する研究 (継続)
- (3) 尾崎行雄の選挙実態調査 (新規)

1998年

- (1) 尾崎行雄の選挙実態調査（継続）
- (2) 内生的成長モデルによる都市の成長に関する実証分析（新規）
- (3) 地域文化事業に対する政府補助の経済分析（新規）

1999年

- (1) 内生的成長モデルによる都市の成長に関する実証分析（継続）
- (2) 地域文化事業に対する政府補助の経済分析（継続）
- (3) 中山間地域における世代間関係に関する社会経済的分析（新規）

2000年

- (1) 中山間地域における世代間関係に関する社会経済的分析（継続）
- (2) 明治前期三重県における政治活動と教育思潮及び近代学校の成立・展開に関する研究（新規）
- (3) 地域の活性化における行政と市民の係りについて（新規）
- (4) 三重県内の諸地域の経済的発展と環境制約に関する学際的研究（新規）

2001年

- (1) 明治前期三重県における政治活動と教育思潮及び近代学校に成立・展開に関する研究（継続）
- (2) 地域の活性化における行政と市民の係りについて（継続）
- (3) 三重県内の諸地域の経済的発展と環境制約に関する学際的研究（継続）

2002年

- (1) 政治参加と社会資本—投票率の高低と地域特性：滋賀県と三重県（新規）
- (2) 宝塚古墳をめぐる政策研究（新規）

2003年

- (1) 政治参加と社会資本—投票率の高低と地域特性：滋賀県と三重県（継続）
- (2) 宝塚古墳をめぐる政策研究（継続）

2004年

- (1) 循環型地域社会の設計と社会資本整備に関する研究（新規）
- (2) 日韓地域交流の現状—地方間交流の事例分析をとおして（新規）
- (3) 政治に対する信頼をテーマとした松阪市における実験的世論調査（新規）
- (4) 三重県における戦時捕虜（欧米人）の処遇に関する調査・研究（新規）

2005年

- (1) 循環型地域社会の設計と社会資本整備に関する研究（継続）
- (2) 日韓地域交流の現状—地方間交流の事例分析をとおして（継続）

- (3) 政治に対する信頼をテーマとした松阪市における実験的世論調査(継続)
- (4) 三重県における戦時捕虜(欧米人)の処理に関する調査・研究(継続)
- (5) 少子・高齢化社会における中央政府と地方政府の相互依存関係に関する経済学的研究(新規)
- (6) 漁業協同組合の広域合併に関する政策的研究(新規)
- (7) まちづくり「共同体」一特に「シマ」の自治と発展を中心に(新規)
- (8) 参与員としての関与から見た津家庭裁判所管内における未成年後見の実状と問題点(新規)

2006年

- (1) 少子・高齢化社会における中央政府と地方政府の相互依存関係に関する経済学的研究(継続)
- (2) 漁業協同組合の広域合併に関する政策的研究(継続)
- (3) まちづくり「共同体」一特に「シマ」の自治と発展を中心に(継続)
- (4) 参与員としての関与からみた津家庭裁判所管内における未成年後見の実状と問題点(継続)
- (5) わが国の賃金・所得配分の不平等化をとりまく諸問題とその改善策にかかる研究(新規)
- (6) カルチュラル・ツーリズムによる三重県内既存観光の活性化(新規)

2007年

- (1) わが国の賃金・所得配分の不平等化を取り巻く諸問題とその改善策にかかる研究(継続)
- (2) カルチュラル・ツーリズムによる三重県内既存観光の活性化(継続)
- (3) 高齢者における運動教室が医療費削減におよぼす効果(新規)
- (4) 答志島等の社会における親族・地縁ネットワークと生涯発達の様相に関する調査研究(新規)

受 託 研 究

当研究所では、地方自治体や団体、企業等から、専門的な知識を必要とする地域振興、人材育成さらには地域の実態分析等の研究の要請を受託し、調査・研究を行い報告書としてまとめることにしている。

- 1989年
第三次松阪市総合計画・基本構想策定
……………松阪市から
- 1990年
第三次大宮町総合計画・基本構想策定
……………(財)三重社会経済研究センターから
- 1991年
鉄道高架化に伴う周辺地域への影響調査
……………松阪市から
- 1993年
松阪沿岸部地域振興策調査
……………中部電力株式会社から
- 1995年
パソコン通信ネットワークの活用に関する調査研究
……………松阪市から
- 1996年
(1) インターネット等の活用に関する調査・研究事業
……………松阪市から
(2) 松阪地区広域連携推進調査検討事業
……………三重県から
- 1997年
町民の声分析業務
……………明和町から
- 1998年
奥伊勢ミルキーウェイ人材育成講座事業
……………奥伊勢ミルキーウェイ構想推進連絡協議会から
第4次松阪市総合計画策定に関する基礎研究
……………松阪市から
紀北地域市民活動団体ネットワーク化事業
……………三重県から
- 1999年
(1) 第4次松阪市総合計画策定に関する基礎研究
……………松阪市から

- (2) 「明和町 町民の声分析」調査・研究
……………明和町から
- (3) 第4次大宮町総合計画策定に関する基礎研究
……………大宮町から

2002年

- 新市将来ビジョンの策定
……………三重県から

2003年

- (1) 三重県有権者の意識調査から得られる分析結果等からの概要版作成業務
……………三重県から
- (2) 市民意向把握調査業務
……………松阪市から
- (3) 新町将来ビジョン策定
……………大宮町・紀勢町・大内山村任意合併協議会から
- (4) 平成15年度商店街競争力強化推進事業業務委託
……………紀勢町商工会から

2004年

- (1) 既存特産物・新規特産品発掘調査業務
……………松阪市から
- (2) 特産品等マーケティング調査・特産品ブランド化研究業務
……………松阪市から

2005年

- (1) 松阪市総合計画の策定に関する指導業務
……………松阪市から
- (2) 平成17年度商店街競争力強化推進事業業務委託
……………松阪市駅前通り商店街振興組合から
- (3) 平成17年度商店街競争力強化推進事業業務委託
……………大台町から
- (4) 地域製造業集積調査及び新産業創造可能性調査
……………松阪商工会議所から
- (5) 大紀町地域振興協議会学職委託
……………大紀町から

2007年

- (1) 松阪市環境基本計画の策定に関する指導業務
……………松阪市から
- (2) まちづくり計画策定業務
……………伊勢市厚生地区から
- (3) 大紀町新エネルギービジョン策定事業調査業務
……………大紀町から
- (4) 地域資源∞全国展開プロジェクトマーケティング調査
……………大台町商工会から
- (5) ハイブリッド型産業観光推進実施計画策定
……………玉城町商工会から
- (6) 大紀町地域振興指導
……………大紀町から

共 同 研 究

当研究所では、三重県や他の大学及び市町村等と連携し、政治、経済、文化、環境、教育等、地域にかかわるさまざまな諸問題について共同して、調査・研究を行ってきた。今後も積極的に行っていきたいと考えている。

1990年

長寿社会づくり調査研究

……………三重県と当研究所（寺本・保谷・寺口各所員）

この調査研究は、三重県の市町村の長寿社会設計の参考とすることを目的として、「健康の保持増進」、「地域連帯の高揚」および「生きがいの充実」という三つの観点から、モデル市町（山口県東和町、福岡県久山町、富山県氷見市）を対象とした実証的な研究である。

2004年

地域の持続的発展モデルの理論的・実証的研究

……………三重県と

研 究 会

当研究所では、所員及び外部講師による小規模な研究会を含め、研究会等を開催している。現在までの状況は次のとおりである。

1992年度

第1回（7月7日）

江戸時代の貨幣について …………… 藤井定義所長

第2回（7月24日）

●●松坂と蒲生氏郷 …………… 郷土史研究家 長束吉夫氏

第3回（10月6日）

農村活性化事業の事例的研究 …………… 倉田 貞所員

第4回（11月10日）

画僧・月僊について …………… 郷土史研究家 海住春弥氏

第5回（12月1日）

金融自由化と地域金融機関としての農協の対応 …… 細野義晴所員

第6回（1月13日）

これからの交通、これまでの交通 …………… 増井健一所員

1993年度

第1回（5月19日）

地域社会のとらえ方 …………… 寺口瑞生所員

第2回（7月7日）

地域開発と商工会議所 …………… 松阪商工会議所専務理事 梅田 清氏

第3回（11月29日）

転換期における地方自治体のあり方
…………… 自治大学校部長教授 昇 秀樹氏

1994年度

第1回（1月18日）

イネの生育に及ぼすフッ素の影響 …………… 吉田弘一所員

1995年度

第1回（2月21日）

三重県における地域保健医療をめぐる諸問題
— 「三重県保健医療計画」を中心に— …………… 筒井琢磨所員

1996年度

第1回（11月15日）

「港とまちづくり」について

…………… 横浜市港湾局理事・臨海開発部長 高橋正宏氏

1997年度

第1回（11月15日）

研究所開設10周年記念講演会・シンポジウム

第1部 講演

演題 三重の新しいくにつくり

…………… 三重県知事 北川正恭氏

第2部 シンポジウム

テーマ「今、地域の活性化にとって何が必要か」

司会及び討論者

司会 細野義晴氏（松阪大学地域社会研究所所長）

討論者 乾 淳子氏（「伊勢志摩」編集長）

野村 隆氏（三重県生活文化部理事）

山本 勲氏（松阪市企画調整部長）

吉田善三郎氏（三重県教育委員、三重県林業経営者協会会長）

吉田民雄氏（松阪大学教授）

2002年度

第1回（1月25日）

松阪大学開学20周年記念講演会

「市町村合併を決断するカギ」

…………… 関西学院大学大学院経済学研究科教授 小西砂千夫氏

2004年度

第1回（11月11日）

国民保護法と地方自治体の役割 …………… 浜谷英博所員

（三重県男女共同参画センターにおいて）

2007年度

第1回（10月28日）

環境シンポジウム（松阪市共催）

基調講演 演題 廃棄物ゼロをめざして

…………… 上勝町長 笠松和市氏

パネルディスカッション

テーマ 自然と人・地域の活力が好循環するまちづくり

…………… 上勝町長 笠松和市氏

NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー事務局長 松岡夏子氏

深緑茶房代表取締役 松本 浩氏

三重中京大学教授 寺本博美氏

三重中京大学客員研究員 若山幸則氏

所員・研究員名簿

(所員)

(2007. 4. 1 現在)

氏名	職名	専門とする分野
所長 伊藤力行	特任教授	経営戦略論、マーケティング
伊田勝憲	講師	教育心理学、発達心理学(青年期の学習動機と自己形成)
上野利三	教授	日本法制史・政治史(幕末～明治期)、地域文化史(三重県地方の古代～近代の人物史・文献学など)
梅村光久	准教授	比較政治学、オーストラリア政治
編集委員 近江健吉	教授	アメリカ経済史
運営委員 大森達也	准教授	マクロ経済学、財政学、公共経済学
川村隆子	講師	民法、財産法(不法行為法)
菊池理夫	教授	公共哲学、文化政策、ユートピア思想
運営委員 佐藤祐司	〃	ゲーム理論、意思決定理論、数理経済学
編集委員 芹澤高斉	准教授	経済成長論、財政・金融政策
運営委員 高橋保幸	教授	都市行政、都市政策、社会工学
寺本博美	〃	経済学(公共経済、経済政策、公共選択)、公共政策の意思決定プロセスと政策効果の分析
西舘司	講師	会計学(財務会計論、財務諸表論)、簿記論
運営委員 浜谷英博	教授	憲法、比較憲法
樋口憲生	〃	運動生理学、トレーニング論
平松正敏	〃	地方自治、地方行・財政
編集委員 村田裕	〃	民法、家族法

(特別任用所員)

松本圭史	本学非常勤講師	地域開発
------	---------	------

所長は、運営委員および編集委員を兼ねる。

(研究員)

氏名	所属及び職名	専門とする分野
島崎 良	本学短期大学部 教授	国文学(万葉集等古代文学)、民俗学(芸能史及び民俗芸能研究)、国学(本居宣長と柳田国男・折口信夫の新国学)
阪上 順夫	本学客員教授	政治学、まちづくり、公民教育
角本 伸晃	相山女学園大学 現代マネジメント学部教授	都市・地域・不動産の経済分析
横浜 勇樹	本学短期大学部准教授	アジア(中国を中心とした)の地域政策の研究、三重県における地域福祉・子育て支援の研究、地域福祉の理論的研究
新川 泰弘	本学短期大学部講師	子ども・家庭福祉及び子育て支援に関する研究
渡辺 澄子	本学短期大学部名誉教授	生活調査(ライフスタイル調査)、比較文化論(服装社会学、被服心理学)
大西 正基	本学客員研究員 (松阪市から派遣)	自治体地域政策
川口 正人	本学客員研究員 (松阪商工会議所から派遣)	地域開発、まちづくり
山川 隆志	本学客員研究員 (松阪商工会議所から派遣)	企業戦略、産業経済論、企業経営論
西 孝	本学客員研究員 (百五銀行から派遣)	地域経済、産業政策、産業関連分析
川村 敏也	本学客員研究員 (第三銀行から派遣)	地域経済、地域金融、企業の社会的責任と金融
別所 浩己	本学客員研究員 (三重県中小企業団体中央会から派遣)	地域経済、産業政策
木平 幸秀	本学客員研究員 (三重県商工会連合会から派遣)	地域経済、産業政策
鈴木 章文	松阪農林商工環境事務所農村 基盤室基盤整備一課 主幹	公共政策、地域政策学
海住 恒幸	文章工房	市民参加型の政策形成、市民を主体としたまちづくり
吉村 裕之	本学非常勤講師	行政システム論、地域政策論
石田 修二	本学非常勤講師	行政学、地方自治
若山 幸則	松阪市環境課主任	自治体環境政策
山本 正憲	堺市介護保険課主幹	行政学、地方自治
前田 幸男	東京都立大学法学部准教授	政治学、計量政治学
大川 四郎	愛知大学法学部准教授	西洋法制史
加藤 順一	尚美学園准教授	日本法制史
久保田 浩二郎	慶応大学大学院研究生 (ウェブスター大学院修士)	国際政治
堀岡 治男	大学出版センター 本学非常勤講師	開発論、日本経済論、地域経済
奥村 勝己	三重県総務部税務 プロジェクト主査	政策価値(アメリカの公共哲学と政策)
小川 光	名古屋大学大学院 経済学研究科 准教授	公共経済学、地方財政学、都市・地域経済学
村林 守	三重県職員研修センター 客員教授	公共政策、地方自治
大谷 健太郎	名桜大学非常勤講師	公共政策、公共投資の評価に関する研究
濱口 高志	本学大学院博士課程	地域主導の循環型社会の構築について
谷中 誠	本学大学院博士課程	公共政策、医療政策史
HA MINH TU	本学大学院博士課程	ベトナムの財政、金融構造とその課題 ●金融しくみの民営化 ●国民からの貯蓄
花豊 真希子	本学大学院博士課程	憲法上の表現の自由、知る権利を中心としたメディア論
納 英輔	本学大学院博士課程	商業経営論、地域商業政策、消費者行動論

地域社会研究所歴代 所長・運営委員・編集委員名簿

◎ 所 長

1987～1990年度	倉 田 貞
1991～1996年度	藤 井 定 義
1997～2000年度	細 野 義 晴
2001年度	佐 伯 富 樹
2002～2003年度	皆 川 治 廣
2004年度～	伊 藤 力 行

◎ 運営委員

1987年度	増井健一 皆川治廣	加藤富子	菊池理夫	相原 正
1988年度	増井健一 皆川治廣	加藤富子 荒木義修	菊池理夫 上野利三	相原 正
1989～1990年度	増井健一	菊池理夫		
1991～1992年度	増井健一	上野利三	寺口瑞生	寺本博美
1993～1996年度	上野利三	寺口瑞生	寺本博美	細野義晴
1997～2000年度	上野利三	伊藤力行	野上健治	皆川治廣
2001年度	上野利三	伊藤力行	浜谷英博	皆川治廣
2002～2003年度	上野利三	伊藤力行	浜谷英博	佐藤祐司
2004～2005年度	上野利三	浜谷英博	佐藤祐司	高橋保幸
2006年度～	浜谷英博	佐藤祐司	高橋保幸	大森達也

◎ 編集委員

1991～1993年度	相原 正	上野利三	戸川成弘
1994年度	上野利三	中村 亨	
1995～1996年度	上野利三	中村 亨	伊藤力行
1997～2000年度	上野利三	中村 亨	近江健吉
2001～2002年度	近江健吉	高橋裕一	角本伸晃
2003年度	近江健吉	高橋裕一	高橋保幸
2004～2005年度	近江健吉	芹澤高斉	大森達也
2006年度～	近江健吉	芹澤高斉	村田 裕

◎ 事 務 長

1987～1989年度	小林芳郎
1990～1994年度	山中 昇
1995～2005年度	西村高雄
2006年度～	岡喜理夫

地域社会研究所所員紹介

項目	1 氏名
	2 主要な著書・論文など
	3 主要な社会的活動

1 伊藤 力行 (いとう ちかゆき)

- 2 ・「製品としての『地域』の戦略的マーケティング」、松阪大学地域社会研究所報第11号、平成11年
- ・「地域の活性化とニッチ企業」～ニッチ・トップ企業に関する共同研究、三重県高等教育連絡会議研究報告書、平成15年
- ・「非正規雇用者の活用戦略」～非正規労働者の「キャリア・デザイン」調査事業、三重県、平成15年
- ・「雇用ポートフォリオ戦略」松阪大学地域社会研究所報第16号、平成16年
- ・「中心市街地再生の鍵を探る」中小企業組合ほっと通信 平成18～19年
- 3 ・三重県雇用・能力開発機構運営協議会委員
- ・三重地域人材育成推進協議会委員
- ・三重県社会教育委員
- ・三重県産業支援センター評議員
- ・松阪市地域公共交通協議会委員
- ・大紀町地域公共交通協議会委員
- ・多気郡有償福祉輸送協議会委員
- ・紀北町商工会ジャパン・ブランド事業委員ほか

1 伊田 勝憲 (いだ かつのり)

- 2 ・「学校および社会復帰への過程における『居場所』(特集・不登校問題への対応)」、『月刊高校教育』第34巻第8号、2001年6月、学事出版
- ・「学習動機づけの総合的理解に向けて―課題価値研究の意義と方向性―」、『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(心理発達科学)』第49巻、2002年12月
- ・「教員養成課程学生における自律的な学習動機づけ像―自我同一性、達成動機、職業レディネスと課題価値評定との関連から―」、『教育心理学研究』第51巻第4号、2003年12月

- ・『教育心理学—心理学の基礎と応用シリーズ7—』共著、2004年1月、ブレーン出版
 - ・『迷走する若者のアイデンティティ—フリーター、パラサイト・シングル、ニート、ひきこもり—』（共著）ゆまに書房 2005年12月
 - ・「課題価値プロフィール作成の試み—学習動機づけの総合的な理解に向けて—」、『三重中京大学研究フォーラム』第1号、2006年3月
 - ・ジーマン・シャンク編著『自己調整学習の理論』（共訳）、北大路書房 2006年9月
 - ・「白石・岡本論文『大学生の意欲低下傾向とアイデンティティ発達、家族機能の関連性』へのコメント」『青年心理学研究』第18号、2007年2月
- 3
- ・NPO法人三重にフリースクールを作る会「三重シューレ」顧問（2003年4月～現在）
 - ・日本青年心理学会研究委員会委員（2005年4月～現在）
 - ・日本キャリア教育学会中部地区部会委員（2006年5月～現在）
 - ・三重県教育委員会平成18年度第1回生徒指導小学校教頭等研修会講師（2006年5月）
 - ・平成18年度松阪地区生徒指導強化推進委員会総会講演（2006年6月）
 - ・みえアカデミックセミナー2006講師（2006年7月）
 - ・三重県東員町城山連合子供会・城山青少年育成会議講演（2006年11月）
 - ・三重県松阪市立中部中学校区青少年健全育成会研修会講演（2007年2月）

1 **上野 利三**（うえの としぞう）

- 2
- ・『地域文化史の諸問題』上野研究室、1995年
 - ・『明治初期騒擾裁判の研究』北樹出版、1996年
 - ・『日本書史学の研究』松阪大学、1996年、梅村学園研究助成
 - ・『近代日本騒擾裁判史の研究』多賀出版、1998年、文部科学省科研費助成
 - ・『伊勢商人竹口家の研究』（共編）和泉書院、1999年、地社研叢書1
 - ・『幕末維新时期伊勢商人の文化史的研究』多賀出版、2001年、文部科学省科研費助成
 - ・『前近代日本の法と政治』北樹出版、2002年、梅村学園研究助成
 - ・『地域政治社会形成史の諸問題』和泉書院、2002年、地社研叢書3
 - ・『地域文化史の研究』和泉書院、2004年、地社研叢書5
 - ・『日本の国家と政治—その歴史と現在』北樹出版、2007年

- ・「東アジアを規制する国際秩序」松阪政経研究13、『中国関係論説資料』（論説資料保存会）に審査・採択
 - ・「邪馬台国の位置に関する覚書」法学研究（慶大）69-12、『同上』に審査・採択
 - ・「前近代日本の法政資料について」松阪大地社研所報、『日本史学年次別論文集』朋文出版、に審査・採択
 - ・「射和地区商家文書と幕末、維新史の研究をめぐって」同上所報、『日本史学年次別論文集』に審査・採択
 - ・「文献史学より見た邪馬台国所在地論」同上所報、『同上』に審査・採択
 - ・「射和文庫所蔵の江戸時代科学技術史資料について」同上所報16、2004年
 - ・「飛鳥石神遺跡出土・具注暦木簡について」同所報17、2005年
 - ・『江戸大博覧会』（国立科学博物館）での射和文庫資料30点の展示解説、2003年
 - ・「大宝律の逸文について」皇學館大学史料編纂所報 2000年
 - ・「大宝補亡律二箇条の復元」皇學館大学史料編纂所報 2003年
 - ・「大宝律三箇条の復元について」『日本歴史』吉川弘文館 2005年
 - ・「コンピューター画像解析による古代遺物・遺跡からの文字の検出」中京大学社会科学研究所 2005年、4月、『日本史学年次別論文集』に審査・採択
 - ・「日赤文書目録一太平洋戦時における日本国内の欧米人捕虜」（共著）松阪大学地域社会研究所所報 2005年
 - ・「太平洋戦争中の三重県入鹿収容所」（共著）同上所報18、2006年
 - ・「明治23年第一回総選挙における静岡県第7区の情勢について」三重中京大研究フォーラム2（梅村副総長追悼号）、2006年
 - ・「第一回総選挙における静岡県第3区の情勢について」同上フォーラム3（細野教授退職記念号）、2007年
 - ・「騎馬軍団と駅伝制度の存在しなかった邪馬台国」明治大学法史学研究会報11、東方書店、2007年
- 3
- ・三重県選挙管理委員会委員（1997～2005）
 - ・三重県史編纂専門委員（～2000）
 - ・紀勢町史編纂委員（～2001）
 - ・講演「日本の政治風土と選挙」三重県市町村選挙管理委員会連合会、県庁講堂 2001年
 - ・講演「伊勢暴動一伊勢人のエネルギー」四日市市制百周年記念、中日文化センター
 - ・講演「名張地方の第1回衆議院議員選挙」名張市明るい選挙推進協議会、名張市役所 2002年

- ・講演「政治はなぜ必要か」桑名市明るい選挙推進協議会、桑名市役所 2002年
- ・講演「政治とは何か」長島町明るい選挙推進協議会、長島町役場、2003年
- ・講演「幕末期竹川竹斎の諸事業と万古焼」桑名の歴史と文学を語る会、桑名シティホテル、2005年
- ・講演「作・演出・主演 小泉流「王手飛車取り」選挙」三重県明るい選挙推進協議会、県庁講堂、2005年
- ・松阪大学公開講座「本居宣長の邪馬台国論、付論：石舞台古墳から『馬子墓』の文字を検出する」2003年
- ・松阪大学公開講座シンポジウム司会「江戸時代伊勢地域における科学技術」2003年、文部省科研費特定領域研究「我国の科学技術黎明期資料の体系化に関する調査研究」班（総勢300名）の一環
- ・徳風高校出前授業「コンピューター画像解析からみた古代遺跡の現像」2006年
- ・飯南高校出前授業「日本史」2002年
- ・学会報告「大宝律の復元、養老律令の編纂・施行時期、唐倉庫令初条の疑義」：法制史学会近畿部会、京都大学、01年
- ・学会報告「コンピューター画像解析による明日香の古代遺跡・遺物からの文字の検出―石舞台古墳、鬼の厠、高松塚古墳壁画、最古の暦・石神遺跡・出土木簡―」法制史学会研究大会、名城大学、03年
- ・学会報告「三重県における明治23年第1回衆議院議員選挙」近代法研究会、大阪大学、03年
- ・日本科学協会（現日本財団）研究助成「江戸時代地方の政治・経済・教育に関する総合的研究―射和地区の場合」（共同研究）平成元～11年
- ・文部科学省科研費基盤研究「明治初期騒擾裁判における司法省と大蔵省の相剋に関する調査研究」平成6～8年
- ・文部科学省科研費特定領域研究「我国の科学技術黎明期資料の体系化に関する調査研究」のA2班「伊勢地域における科学技術資料の調査・研究」項目代表、2002～2003
- ・同上「江戸時代三重県域と他地域との科学技術の交流に関する研究」項目代表、2004～05
- ・科研費特定領域研究国際シンポジウム・エクスカージョンコーディネイター、2004年6月、三重大学三翠会館
- ・文部科学省科研費基盤研究「太平洋戦争中の日本国内の欧米人捕虜の処遇に関する研究」（共同研究）2006年

- 1 梅村 光久 (うめむら みつひさ)
 - 2
 - ・「オーストラリアの政党制と選挙選挙について」松阪大学地域社会研究所報、第13号、2001年3月
 - ・「選挙運動と選挙報道について」比較憲法法学研究、第12号、1999年10月
 - ・「政治に対する信頼と政党支持 松阪市における政治意識調査より」三重中京大学地域社会研究所報。2006年3月
 - 3
 - ・阿児町商工会講演会「新世紀を迎えるオーストラリア」2000年9月
 - ・三重県私学協会副会長
 - ・三重テレビ放送番組審議会委員
 - ・三重県国際交流財団評議員
 - ・全日本大学野球連盟評議員
 - ・三重県高等学校ゴルフ連盟会長
-

- 1 近江 健吉 (おおみ けんきち)
 - 2
 - ・「ニューヨークにおけるタンパイク道路とプランク道路, 1797-1860」『地域社会研究所報』第11号、1999年3月。
 - ・「植民地の経済成長にかんする三つの論文」松阪大学『政策研究』第3巻、第1号、2003年3月。
 - ・「17世紀チェサピークにおける奴隷の導入」松阪大学『地域社会研究所報』第17号、2005年3月。
 - ・“Navigation Acts”, *History of World Trade since 1450*, ed. John j. McCusker (editor in chief), Thomson Gale, 2005.
 - ・「植民地時代におけるニューイングランド経済」三重中京大学『地域社会研究所報』第18号、2006年3月。
 - 3
 - ・日本アメリカ学会会員
-

- 1 大森 達也 (おおもり たつや)
- 2
 - ・“Allocation of Public Expenditure and Economic Growth.” 单著 1997年 経済科学
 - ・“Does Money Improve Intergenerational Income Distribution in Social Security?” 单著 1998年 経済科学

- ・「物価スライド制年金システムにおける最適貨幣供給ルール」単著 1999年 松阪政経研究
 - ・「貨幣供給と経済成長」単著 2000年 松阪政経研究
 - ・「公的育児、税、および、経済成長」単著 2000年 松阪大学地域社会研究所所報
 - ・「成長経済における公的育児政策の社会的厚生への効果」単著 2001年 松阪大学地域社会研究所所報
 - ・「公的育児政策と経済成長」単著 2002年 日本経済政策学会年報
 - ・“Effects of overlapping tax bass in a growing economy”共著 2002年 Finanz Archiv
 - ・「財政政策、経済成長および生産関数」単著 2003年 松阪大学地域社会研究所所報
 - ・「医療研究開発への公共支出と社会保障が経済成長に及ぼす効果」単著 2004年 松阪大学地域社会研究所所報
 - ・「公的健康支出と社会保障—地方政府对中央政府—」単著 2006年 三重中京大学政策研究フォーラム
 - ・「地方政府は地域の過疎・高齢化を止められるか」単著 2007年 三重中京大学地域社会研究所所報
- 3
- ・三重県立飯南高等学校総合学科高大連携科目「社会科学入門」講師 2000年より現在まで
 - ・米国国務省主催人物交流事業“Economic and Financial Relations: Meeting New Challenges in the New Century: Achieving Common Prosperity Through Participation and Cooperation”に招待参加 2002年1月より2002年2月まで
 - ・三重県立伊勢まなび高等学校 学校評議員 2004年
 - ・三重県公共事業評価審査委員会委員 2005年より現在まで
 - ・東海地区大学野球連盟理事 2005年～現在まで
 - ・三重県公営企業（県企業庁）のあり方検討委員会委員 2006年より2007年まで
 - ・三重県中高一貫教育研究会議委員 2006年より現在まで

- 1 川村 隆子（かわむら たかこ）
- 2 ・『教材 民法判例（財政法）』（共著）法律文化社、2004年

- ・『民法総則』（共著）近畿大学通信教育部、2005年
 - ・『コンパクト民法 財産法』（共著）法律文化社、2006年
 - 3 ・大阪府行政書士会 代理権関係講座 講師（2002.9～2003.9）
 - ・大阪商工会議所 法律講座 講師（2003、2004）
-

- 1 菊池 理夫（きくち まさお）
 - 2 ・「文化行政と三重県文化の活性化」『松阪大学地域社会研究所報』、第13号、2001年3月
 - ・『現代のコミュニタリアニズムと第三の道』風行社、2004年
 - ・「共通善の政治学」『法学研究』第78巻、第7号、2005年7月
 - 3 ・松阪市福祉有償運送運営協議会 会長
 - ・松阪市文化センター運営委員会 委員
-

- 1 佐藤 祐司（さとう ゆうじ）
- 2 著書：
 - ・『行政経営のための意思決定法』、ぎょうせい、2005（共著）論文：
 - ・“Administrative Evaluation and Public Sector Reform : An Analytic Hierarchy Process Approach,” *International Transactions in Operational Research*, Vol.14, No.5, 2007.
 - ・“A Quantitative Model of Risk Assessment for a Chemical Plant,” *Preprints Vol.4 of the 14th International Working Seminar on Production Economics*, 2006.
 - ・“Questionnaire Design for Survey Research:Employing Weighting Method,” *Proceedings of the Eighth International Symposium on the Analytic Hierarchy Process*, 2005.
 - ・“Empirical Evaluation of Scales Employed in a Pair - wise Comparison,” *Proceedings of the 15th Mini Euro Conference on MUDSM*, 2004.
 - ・“Comparison between Multiple-choice and Analytic Hierarchy Process : Measuring Human Perception,” *International Transactions in Operational Research*, Vol.11, No.1, 2004.

- ・“Comparison between Ranking Method and the Analytic Hierarchy Process in Program Policy Analysis,” *Proceedings of the Seventh International Symposium on the Analytic Hierarchy Process*, 2003.
- ・“The Impact on Scaling on the Pair-wise Comparison of the Analytic Hierarchy process,” *Proceedings of the Sixth International Symposium on the Analytic Hierarchy Process*, 2001.

翻訳：

- ・『冷戦とコンピュータ』—Closed World, Paul N. Edwards著、日本評論社、2003（共訳）
- 3
- ・社会福祉法人向野園 理事兼評議員、2006.5—現在
 - ・松阪市障害者計画策定委員会 委員長、2005.8—現在
 - ・日本選挙学会年報編集委員会 委員、2005.4—2006.3
 - ・松阪市地域マネジメント構築検討審議会 エリア分割委員会 委員長、2003.9—2004.3
 - ・滋賀・岐阜・三重・福井四県共同政策研究会 指導教官、2003.6—2004.3
 - ・三重県多気郡明和町都市環境審議会 会長、2003.6—2006.3
 - ・三重県の高高等教育機関の知的資源活用事業計画 監修、2003.6—2004.3
 - ・日本選挙学会紀要編集委員会 委員、2003.4—2005.3
 - ・三重県民環境会議基金審査委員会 委員、2001.3—2003.3

- 1 芹澤 高斉（せりざわ たかなり）
- 2 「世代間のリスク・シェアリングと国債政策」*経済学論叢*（中央大学）第38巻、5・6号、1998年3月

- 1 高橋 保幸（たかはし やすゆき）
- 2
- ・「自治体における行政体制・システムの変革・整備—その現状と課題」、『*経済と貿易*』横浜市立大学、2000年10月
 - ・「分権型社会の都市行政と組織改革」、共、日本都市センター、1999年3月
 - ・「行政評価の設計・導入とその視点・手順」、共、同上、2000年3月
 - ・「分権型社会における自治体法務」、共、同上、2001年3月
 - ・「自治的コミュニティの構築と近隣政府の選択」、共、同上、2002年3月

- 3 ・三重県 県と市町村の新しい関係づくり協議会（助言者）
 - ・松阪地方合併協議会（委員）
 - ・松阪市市民参加・参画・協働推進市民委員会（座長）
 - ・伊勢市補助金適正化委員会（委員）
 - ・三重県県政懇話会（座長）
 - ・玉城町戦略会議（委員）
-

1 寺本 博美（てらもと ひろみ）

- 2 ・『公共支出の経済分析—決定要因と官僚機構』成文堂、1985年12月
 - ・『経済政策入門』（共著）成文堂、2002年3月
 - ・『政策学入門—ポリシースクールの挑戦』（共著）東洋経済新報社2003年4月
 - ・『入門公共選択—政治の経済学』（共著）勁草書房、2005年3月
 - ・『ポスト産業資本主義下の制度改革』（共著）成文堂、2006年10月
 - ・『循環型地域社会のデザインとゼロ・ウェイスト』（三重中京大学地域社会研究所叢書8）（編著）和泉書院、2007年2月
 - ・「公共政策過程における経済人」『三重中京大学研究フォーラム』第2号、2006年12月
 - ・「効率性の含意と構造改革」『三重中京大学研究フォーラム』第3号、2007年3月
 - ・「カルチュラル・ツーリズムの可能性と三重県における資源」（共著）『三重中京大学地域社会研究所所報』第19号、2007年3月、など
- 3 ・日本経済政策学会（理事）、三重地方社会保険医療協議会委員（厚生労働省）、松阪市慣行検討委員会委員長（松阪市）、松阪市都市計画審議会委員（松阪市）、伊勢湾学セミナー設置運営懇談会委員（三重県環境森林部）、財団法人三重県建設技術センター理事、財団法人覚真教育振興財団評議員、など、（2007年5月現在兼職中）

○<http://www2.mie-chukyo-u.ac.jp/~teramoto/>の〔自己紹介〕を参照。

1 西舘 司（にしだて つかさ）

- 2 ・（共著）『エッセンス簿記会計 [第4版]』（新田忠誓編著）森山書店、2007年4月、「ワークブック」執筆
 - ・（共著）『会計数値と財務情報』（新田忠誓監修、佐々木隆志・石原裕也・溝上達

也編著) 白桃書房、2005年1月、第6章「スガンチーニの貨幣的二勘定系統理論」執筆)

- ・「開始残高勘定と閉鎖残高勘定の異質性—ヒューグリ学説に学ぶ—」『一橋商学論叢』Vol.1、Vol.2 (2006年11月)、60—72頁
-

1 浜谷 英博 (はまや ひでひろ)

2 〈2001年以降〉

- ・『日本の安全保障法制』共著、2001年4月、内外出版
- ・『エレメンタリ憲法』共著、2001年4月、成文堂
- ・『有事法制』共著、2003年1月、PHP研究所
- ・「国際平和協力懇談会報告書と自衛隊の海外派遣恒久法の検討—国際平和協力活動の新段階—」、『松阪政策研究』第4巻、第1号、2004年3月
- ・『要説 国民保護法—責任と課題』、2004年12月、内外出版
- ・『我が国防衛法制の半世紀—発展の軌跡と展望』共著、2004年12月、内外出版
- ・『早わかり国民保護法』共著、2005年8月、PHP研究所
- ・「国民保護法の理念と実践—地方自治体の取組みと今後の課題—」、『防衛法研究』第29号、2005年10月

3 〈2001年以降〉

- ・衆議院・テロ対策特別委員会参考人質疑における参考人、2001年10月
- ・日本法政学会報告「日本国憲法と緊急事態法制—国会関与と国民保護のあり方を中心に—」、2002年6月
- ・参議院予算委員会公聴会における公述人、2003年3月
- ・衆議院武力攻撃事態への対処に関する特別委員会参考人質疑における参考人、2003年5月
- ・防衛法学会報告「有事法制のあり方と国会審議」2003年5月
- ・三重県介護保険審査会委員 (平成16年4月1日～平成19年3月31日)
- ・松阪市個人情報保護審査会委員 (平成16年4月1日～平成19年3月31日)
- ・松阪市情報公開審査会委員 (平成16年4月1日～平成19年3月31日)
- ・参議院法制局講演「国民保護法制立法化の方向性と課題」2004年3月
- ・三重県議会事務局講演「国民保護法制の立法化と地方自治体の課題」2004年3月
- ・参議院・イラク人道支援及び有事法制特別委員会参考人質疑における参考人、2004年6月
- ・日本法政学会ラウンド・テーブル・パネリスト「21世紀におけるわが国の課題」

2004年6月

- ・三重県防災危機管理局講演「国民保護法と地方公共団体の役割」2004年11月
- ・神奈川県市長会講演「国民保護計画策定への視座」2005年2月
- ・三重県警察本部講演「国民保護法と警察の責務」2005年2月
- ・三重県国民保護フォーラム講演「国民保護法と県民」2005年2月
- ・三重県国民保護協議会委員（平成17年4月1日～現在）
- ・鹿児島県国民保護フォーラム講演「国民保護法と地域住民」2005年6月
- ・三重県警察学校・講義「法学概論」2005年10月、2006年2月及び4月
- ・三重県警察警部補及び巡査部長昇任者研修・講演「県民の不安と警察への期待」、2005年12月及び2006年1月
- ・総務省消防庁・全国瞬時警報システム(J-Alert)検討会委員(2005年10月～2006年3月)
- ・三重県国民保護協議会・講演「国民保護計画の策定と今後の諸課題」、2006年1月
- ・拓殖大学総合危機管理シンポジウム・講演「日本の危機管理－国民保護法制」、2006年2月
- ・松阪市幹部職員研修会・講演「国民保護法の目的と自治体の役割」、2006年2月
- ・三重県国民保護フォーラム・基調講演及びパネリスト、「国民保護計画の目的－その実効性確保に向けて－」、2006年2月
- ・奈良県国民保護講演会・講演「国民保護法の目的と地域住民－国民保護計画の策定と諸課題－」、2006年3月
- ・新潟県国民保護フォーラム・対談及びパネリスト、2006年3月
- ・京都府危機管理研修会・講演「国民保護法の目的と地方公共団体の役割」、2006年3月
- ・松阪市国民保護協議会委員（平成18年4月1日～平成20年3月31日）
- ・名古屋市国民保護協議会委員（平成18年6月1日～平成20年5月31日）
- ・松阪市国民保護協議会・講演 2006年4月
- ・尾鷲市国民保護協議会・講演 2006年7月
- ・三重県市町国民保護担当者研修会・講演 2006年7月
- ・三重県警察学校・講義 2006年10月及び2007年4月
- ・三重県警察警部補及び巡査部長昇任者研修・講演 2006年12月及び2007年1月
- ・神奈川県国民保護フォーラム・パネリスト 2006年11月
- ・鈴鹿市国民保護フォーラム・講演 2006年12月

- ・自衛隊久居駐屯地幹部研修会・講演 2007年2月
 - ・柏崎市国民保護講演会・講演 2007年3月
 - ・松阪市国民保護協議会・講演 2007年4月
-

1 **平松 正敏**（ひらまつ まさとし）

- 3
- ・鈴鹿市情報公開審査会委員（1997年10月・現在）
 - ・松阪市役所企画課「松阪市総合計画策定市民ディスカッション」コーディネーター2001年11月、市産業振興センター
 - ・松阪市役所企画課総合計画講演「新しい時代の総合計画」、2001年3月11日、市産業振興センター
 - ・三重県民社協会松阪セミナー講演「これからの地方自治のあり方」 2001年1月27日、フレックスホテル
 - ・松阪市第4回市政マネージメント・シリーズ研修会講演「分権化時代の地方自治」2000年11月17日、市産業振興センター
 - ・三重県公益法人等審議会会長（2003年3月～現在）
 - ・松阪市コミュニティ活性化委員会委員長（2003年3月～現在）
 - ・熊野市情報公開審査会委員・同市個人情報保護審査会委員（2004年6月10日～）
 - ・講演・松阪市市政サポーター研修会「地方分権下における行政と住民のあり方」、松阪市役所本庁舎（2003年12月9日）
 - ・講演・東海地区都市監査委員会研修会「行政は見えやすく分かりやすいかー行政の透明性を考える視点と地方自治ー」津市 津リージョンプラザ（2004年5月28日）
 - ・三重県過疎問題懇話会委員（2004年8月～2005年3月）
 - ・三重県土地収用委員会予備委員（2004年8月～2005年3月）
 - ・三重県土地収用委員会委員（2005年4月～現在）
 - ・松阪市公平委員会委員（2005年4月～現在）
 - ・松阪地区広域消防組合公平委員（2005年5月～現在）
 - ・松阪地区広域衛生組合公平委員（2005年5月～現在）
 - ・松阪地区広域消防組合第20回職員意見発表会審査長（2003年3月7日・松阪地区広域消防組合消防本部）
 - ・松阪地区広域消防組合第21回職員意見発表会審査長（2005年3月9日・松阪地区広域消防組合消防本部）

- ・三重県消防職員意見発表会審査委員（2005年4月15日・松阪市華王殿）
 - ・三重県紀北消防組合消防指令長昇任選考委員（2005年11月11日・紀北広域連合介護センター）
-

1 **樋口 憲生**（ひぐち のりお）

- 2 ・「本学男子学生におけるBMI・体脂肪率の縦断的变化」 松阪大学紀要 No.22、2004
 - ・「男子大学生の健康意識および食習慣と体脂肪率との関係」 松阪大学紀要 No.23、2005
 - ・「Does daily activity level determine muscle phenotype?」 The Journal of Experimental Biology、2005
 - ・「Is spinal cord isolation a good model of muscle disuse?」 Muscle & Nerve、2007
- 3 ・東海学生陸上競技連盟評議員（1993～2005年度）、監事（2006年度～）
 - ・松阪市観光活性化推進委員会会長（2002年9月～2003年2月）
 - ・松阪市男女共同参画審議会委員（2005年6月～2009年5月）
 - ・みえアカデミックセミナー講師（2005年度）、同移動講座講師（2006年度）
-

1 **村田 裕**（むらた ひろし）

- 2 ・「選択的夫婦（親子）別氏制への一反対論」、『松阪大学紀要』第20巻、第1号、2002年3月。
- 3 ・津家庭裁判所 家事調停委員（2002年10月～）
 - ・津地方裁判所 民事調停委員（2004年4月～）
 - ・三重県労働委員会公益委員（2005年4月～）
 - ・津市情報公開・個人情報保護審査会委員（2005年4月～）
 - ・三重県公共工事総合評価審査委員会委員（2006年6月1日～）

三重中京大学地域社会研究所規程

昭和62年7月1日 制定

平成17年4月1日 最終改正

(名称)

第1条 この研究所は、三重中京大学に附置された研究施設であつて、三重中京大学地域社会研究所（以下「研究所」という。）と称する。

(所在)

第2条 研究所は、松阪市久保町1846番地三重中京大学内に置く。

(目的)

第3条 研究所は、地域社会に関する諸問題を理論的ならびに実証的に研究し、もつて地域社会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 研究所は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 研究および調査
- (2) 資料の収集、整理、保管および公開
- (3) 研究成果の発表
- (4) 研究会、講演会等の開催
- (5) その他必要な事業

(構成)

第5条 研究所は、次の各号をもって組織する。

- (1) 所長 1名
- (2) 所員 若干名
- (3) 事務職員 若干名

2 研究所に、前項各号に掲げるもののほか、研究員若干名を置くことができる。

(所長)

第6条 所長は、所務を総括し、研究所を代表する。

- 2 所長の選出は、所員会議において行い、学長が委嘱する。
- 3 所長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(所員)

第7条 所員は、第3条の目的に賛同する三重中京大学専任教員の中から学長が委嘱する。

(研究員)

第8条 研究員は、第3条の目的に賛同して、その目的に沿った研究・調査を行う、三重中京大学短期大学部専任教員、三重中京大学大学院博士課程在籍者及び内外の研究の中から、所長の推薦により学長が委嘱する。

(事務職員)

第9条 事務職員は、三重中京大学に勤務する事務職員またはそれに準ずる職員の中から学長が委嘱する。

(所員会議)

第10条 研究所に所員会議を置く。

- 2 所員会議は、所長および所員で構成する。
- 3 所員会議に関する細則は、別に定める。

(運営委員会)

第11条 研究所に運営委員会を置く。

- 2 運営委員会は、所長及び所員会議において選出された運営委員若干名で構成し、研究所の事業の運営にあたる。
- 3 運営委員会の細則は、別に定める。

第12条 研究所に編集委員を置く。

- 2 編集委員会は、所長及び所員会議において選出された編集委員で構成し、研究所刊行物の編集にたずさわる。

(経 費)

第13条 研究所の経費は、三重中京大学の年間予算およびその他の収入をもってこれにあてる。

(細 則)

第14条 この規程の実施に関し必要な事項は、別に定める。

(規程の改正)

第15条 この規程の改正は、所員会議において出席者の過半数の同意を必要とし、学長が行う。

附 則

この規程は、昭和62年7月1日から施行する。

附 則

この規程改正は、昭和63年1月13日から施行する。

附 則

この規程改正は、平成2年5月23日から施行する。

附 則

この規程改正は、平成3年4月15日から施行し平成3年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程改正は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 平成2年3月16日制定の松阪大学地域社会研究所客員所員規定は、廃止する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

三重中京大学地域社会研究所所員会議細則

昭和63年1月13日 制 定

平成17年4月1日 最終改正

第1条 この細則は、三重中京大学地域社会研究所規程（以下「規程」という。）第10条第3項の規定に基づき所員会議の運営について定める。

第2条 所員会議は、所長が招集し議長となる。

2 所長事故あるときは、予め所長が指名した所員が招集し議長となる。

第3条 定例の所員会議は、原則として前、後期各1回開催する。ただし、必要がある場合は、臨時に開催することができる。

2 臨時の所員会議は、所長が必要と認めた場合または所員の3分の1以上が所長に開催を請求した場合に招集する。

第4条 所員会議は、所員の2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

第5条 所員会議の議決は、出席者の過半数の同意によるものとし、可否同数のときは議長の決するところによる。

第6条 この細則を改正するときは、規程第14条の規定を準用する。

附 則

この細則は、昭和63年1月13日から施行する。

附 則

この細則改正は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この細則改正は、平成17年4月1日から施行する。

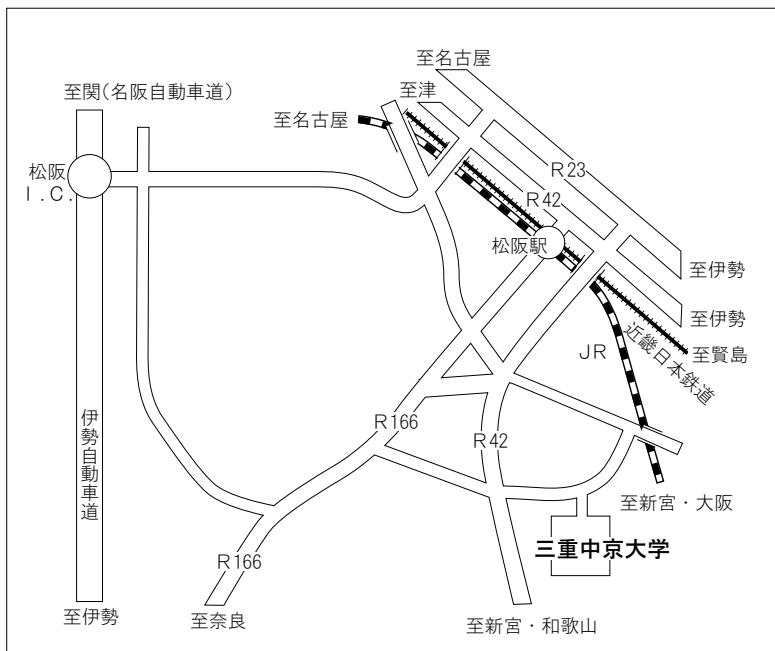
三重中京大学地域社会研究所

〒515-8511 三重県松阪市久保町1846番地

TEL (0598) 29-1122(代)

FAX (0598) 29-1014

<http://www.mie-chukyo-u.ac.jp/tiiki/>



松阪駅（JR東海、近鉄とも）から三重交通バス「パークタウン学園前」行で15分、「三重中京大学口」下車、徒歩5分。

伊勢自動車道 松阪インターから15分。